

「新春PMセミナー2015」成功裏に終える

佐藤 義男(株式会社ピーエム・アライメント)

開催日・場所： 2015年1月24日(土)、一橋大学一橋講堂

参加者： 330人



光藤理事長(PMAJ)



延岡 教授(一橋大学)



会場風景

「新春PMセミナー2015」成功裏に終える

- 基調講演:「価値づくりの技術経営」

延岡 健太郎氏(一橋大学イノベーションセンター センター長・教授)

- イノベーションとは、「ものづくり+価値づくり」である。
- 価値づくり(企業の付加価値・利益)こそが社会貢献する。
- 日本企業の価値づくりの条件は、市場起点から顧客起点になること。
- 顧客価値の実現には顧客価値創出(意味的価値)と徹底的な技術蓄積(積み重ね技術)が求められている。

- 講演1:「IoT(Internet of Things)時代の新事業創出」

野原 佐和子氏(株式会社イプシ・マーケティング研究所 代表取締役社長)

- IT関連機器や様々なものがインターネット接続されることにより、多様なサービスの創出が期待される。
- IoT概観し、IoTの新サービスとして「ウェアラブル・デバイス関連サービス」を紹介。新市場創出には、魅力的なサービスが育つプラットフォーム作成が必要(ものからサービスへの移行が重要)。
- Connected Car(常時インターネットに接続するクルマ)のプラットフォームや新サービス例を取り上げ、今後の可能性を解説。

「新春PMセミナー2015」成功裏に終える

- 講演2:「ブランド価値創造のためのデザイン革新」
鈴木 英樹氏(マツダ株式会社デザイン本部 執行役員補佐)
 - 日本のものづくりにどのようなブランド価値をつけるかについて、マツダの車作りを通して解説。
 - マツダデザインの歴史とDNAとは、洗練デザインから「ときめき」のデザインへ、そしてブランド戦略への取り組み。
 - ブランドデザイン構築に向け、創造性・一貫性・継続性が必要。そのために、ビジョン・テーマ、デザイン戦略が重要となる。
 - プレミアム・ブランドデザインの実現のために、日本の美意識を形にすべく挑戦している。
- 講演3:「日米ITビジネスとの違いから考える、IT人材育成の課題と期待」
 - 藤井 彰人(KDDI株式会社 サービス企画本部クラウドサービス企画開発部 部長)
 - 今、ビジネス環境の変化に適応し、価値を生み出すIT人材が求められている。
 - 組織文化の違いによる課題(社内プロセス、人事評価制度、ダイバーシティ)に対し、変化に適応するアジャイル開発やイノベーション創出アプローチが必須。
 - IPA未踏プロジェクトの例を通して、若手技術者の発掘育成アプローチを紹介。